

補正予算特別委員会会議記録

1. 開催日	平成29年9月21日(木)	
2. 場所	議員協議会室	
3. 出席議員	小島政行、國里修久、前田えり子、隅田雅春、足立義則、栗山泰三、河南克典、大西基雄、木戸貞一、向井千尋、吉田知代、恒田正美、大上和則、森本富夫、安井博幸、園田依子、奥土居帥心、渡辺拓道	
4. 協議事項	議案第62号 平成29年度篠山市一般会計補正予算(第3号) 議案第63号 平成29年度篠山市住宅資金特別会計補正予算(第3号) 議案第64号 平成29年度篠山市下水道事業特別会計補正予算(第1号) 議案第65号 平成29年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 議案第66号 平成29年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 議案第67号 平成29年度篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 議案第68号 平成29年度篠山市介護保険特別会計補正予算(第2号) 議案第69号 平成29年度篠山市農業共済事業会計補正予算(第1号) 議案第70号 平成29年度篠山市水道事業会計補正予算(第1号) 議案第72号 平成29年度篠山市一般会計補正予算(第4号)	
5. 議事の経過	9:30 開会 小島委員長 開議宣告 <table border="1"><tr><td>総務文教分科会座長報告</td></tr></table> ■議案第62号 平成29年度篠山市一般会計補正予算(第3号) ■議案第72号 平成29年度篠山市一般会計補正予算(第4号) 栗山座長より報告後、質疑応答。	総務文教分科会座長報告
総務文教分科会座長報告		

<主な質疑応答等>

恒田委員

企画一般事務費に関し、市名変更に伴い想定される経済波及調査について、身のある調査にしてほしいとの意見があったと座長報告にあったが、仮に予算額400万円を超えた場合は、どのように対応するのか、また、いつごろまでに調査を終了し、市民に示そうとしているのか、について質疑等があったのか。

栗山座長

当局から、400万円という補正予算額は、これまでの業者との打ち合わせの中で、見積もった金額であり、これをベースに業者選定を行いたいと考える、旨の答弁があり、当分科会としては、400万円の予算をベースに市内部で調査できることは、内部で取り組んでいくという認識である。

また、調査終了時期等については、委員から、予備費で調査を行おうとした理由は、急を要するためであったのではないかと。補正予算の上程は、調査を急ぐ必要がなくなったという理解でよいか、との質疑があり、当局からは、できる限り早く成果を出し、議会や市民に示したいという思いがある、旨の答弁があり、明確な時期は示されなかった。

恒田委員

委託業務内容が特殊であるため、提案型により業者選定が行われるのではないかと考えるが、分科会での各委員からの意見を踏まえた調査内容等を含めるとなると、仮に予算額を超える場合は、議会への報告はあるのか。

栗山座長

所管委員会として、進捗状況等については報告いただくとともにしっかり注視していきたい。

足立委員

今回提案された内容は、400万円の予算の中で業者選定をし、調査を行おうとするものであり、業者選定方法や調査項目に不備等があるのであれば、今回の補正予算の取り下げや、否決による12月定例会での再提出などをすべきではないかといった質疑や意見はなかったのか。

栗山座長

分科会では、議論を深めるために市民の一つの判断材料として、調査すること自体は必要であると考えている。しかしながら、提案された調査内容には、まだまだ検討の余地がある。担当部局で調査方法や調査内容を検討するとともに、適切な業者を選定いただきたい、との意見もあった。

隅田副座長

当局からは、当初は予備費により、随意契約で業務委託しようとしていたが、議会軽視ではないかなどの意見もあり、補正予算として上程した。また、これまでその業者と協議していた調査エリアやサンプ

ル数などについての説明があった。それに対して、各委員からそのような調査で信憑性のある結果が得られるのか、また、委託せずともできる調査は市内部ですべきではないか、など多くの意見があった。分科会での各委員の意見も踏まえ、400万円の枠の中で提案型等により業者選定する。業者選定が不調に終わるなど、予算が不足等の事態が生じるのであれば、その際は、しっかり所管委員会として審査していく。400万円の予算の中で、議会の意見も踏まえ、検討してほしいということである。

足立委員 400万円で調査ができることが前提で予算を認める、認めないということになるのではないか。

隅田副座長 今回、議会が審査できる補正予算として調査費用が上程された。その中で、各委員から調査方法や内容について、意見や提案があった。400万円の枠の中でそのような意見や提案を踏まえた形で、内容を検討してほしいということである。

民生福祉分科会座長報告

■議案第62号 平成29年度篠山市一般会計補正予算（第3号）

■議案第63号 平成29年度篠山市住宅資金特別会計補正予算（第3号）

■議案第66号 平成29年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

■議案第67号 平成29年度篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

■議案第68号 平成29年度篠山市介護保険特別会計補正予算（第2号）

恒田座長より報告後、質疑応答。

<主な質疑応答等>

安井委員 多紀支所費に関し、現多紀支所施設については、福住複合教育施設に移転した後に取り壊すのか。

恒田座長 現状、決まってはいるが、建物が脆弱なため、耐震化工事はできないことから、再利用は不可能であると考えている、旨の説明があった。

安井委員 いつ取り壊しが行われるのか。

恒田座長 そうした質疑はなかった。

隅田委員 福住複合教育施設の活用について、1階の一部は支所や東雲高校が使用することであるが、その他の空き部屋の活用について、質疑は行ったのか。

恒田座長 　　そうした質疑はなかった。
安井委員 　　戸籍住民基本台帳費に関し、マイナンバーカードに旧姓が併記できるようになるとのことであるが、離婚した場合、旧姓の選択肢が2つになると想定できる。選択することは可能なのか。
恒田座長 　　本人の申し出に基づき、旧姓を併記することから、そうした理解になると考える。

産業建設分科会座長報告

■議案第62号 平成29年度篠山市一般会計補正予算（第3号）

■議案第64号 平成29年度篠山市下水道事業特別会計補正予算（第1号）

■議案第65号 平成29年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

■議案第69号 平成29年度篠山市農業共済事業会計補正予算（第1号）

■議案第70号 平成29年度篠山市水道事業会計補正予算（第1号）

國里副座長より報告後、質疑応答。

<主な質疑応答等>

栗山委員 　　放置空き家対策事業に関し、代執行が間に合わず家屋が損壊してしまった事例の調査はされているのか。
國里副座長 　　各地域を把握している状況については、確認している。
栗山委員 　　危険な空き家を調査し、倒壊を防ぐことも大事な仕事である。今回の物件は近隣の家との環境面において問題がある。委員会として調査をお願いしたい。
國里副座長 　　承知している。
河南委員 　　空き家の固定資産税が納入されていても処分できるか質疑はあったか。
國里副座長 　　そこまで追求した議論はしていない。
河南委員 　　建物を撤去し更地になれば固定資産税が6倍になる。激変緩和措置について委員会で提案して欲しい。
隅田委員 　　環境政策総務費に関し、ウッドチップパーは安全面が心配であるが、安全対策について説明はあったのか。
國里副座長 　　使用する自治会などに操作方法を指導することであった。
河南委員 　　以前にウッドチップパーで堀端の竹を処分した際、竹が産業廃棄物になるため一時中断したと記憶しているが、それについての審査はしたか。

國里副座長	産業廃棄物に関する質疑はなかった。
隅田委員	ウッドチップの委託先について、具体的な提案はあったのか。
國里副座長	提案はなかった。
森本委員	労働諸費の篠山技能学園について、費用対効果をどのように考え、今後も維持していくべきか審議はあったのか。
國里副座長	労働諸費には333万円が計上され、技能高等学院の屋根塗装工事に係る経費である。当初予算では、大屋根等の全面塗装経費として171万円が計上されていたが、現場踏査を行った結果、陸屋根部やパラペット部の防水シートに穴が開いていることが判明した。施設の長寿命化や防水機能維持のため、防水シートの取り換えを追加するため、工法変更により総経費が504万円となり、333万円を追加で計上する。
森本委員	技能高等学院では、年間維持費も含め相当な経費がかかる。また、色んな事業をされているが、どの程度効果があるのか、利用がどの程度か委員会として今後調査してほしい。
國里副座長	今後調査研究していきたい。
安井委員	農業農村整備事業に関し、ウエルライフ篠山校の通学路として農道を補修するとのことであるが、旧篠山産業高校丹南校の生徒が通学路としていた道路を整備する議論はなかったのか。
國里副座長	旧の通学路は未舗装で、常時草が繁茂するため、農道を選定された。ただし、水たまりができる状況であり、現在の舗装の上から舗装しなおすとの説明であった。
安井委員	道は使わなければますます傷む。堤防を舗装して通学路として整備することがよいと考えるが、検討はされなかったのか。
國里副座長	そうした議論はしていない。

議員間討議

小島委員長	<p>討論、表決に入る前に、全体を通して何か意見はないか。疑義がある場合、市長に確認しておきたい事項があればあげていただきたい。</p> <p>先程、総務文教分科会より、議案第72号の企画一般事務費に関し、「市名変更に関連する調査業務について、議論を深めるために市民等の一つの判断材料として、調査すること自体は必要であると考えますが、提案説明された調査方法や調査内容では、まだまだ検討の余地があるのではないかと考えるが、業者選定方法を含め、調査方法、調査項目について、再度検討する必要があると考えるが、市長の見解を問うてはどうか。」</p>
-------	--

との提案があったので、協議を行いたい。

河南委員

総務文教分科会審査では、予算額400万円の中で信憑性のある調査ができるのか、各委員から出た意見を調査に反映できるのかについて議論があった。また、メリットだけでなく、デメリットについても調査すべきとの意見もあった。そういったことがクリアできるのであれば、予算額の中で調査を進めていただいたらよいと考える。調査は急を要するものではない、旨の市長の意向もあることから、仮に400万円で調査できないのであれば、予算を執行せず、再度精査して12月以降に補正予算として上程することも必要ではないかと考えることから、市長に確認してはどうか。

渡辺委員

総務文教分科会では、慎重に審議されており、その意向を中心に市長へ質問してはどうかと考える。

小島委員長

特に意見がないようなので、「市名変更に関連する調査業務について」は、審査依頼を行った総務文教分科会の提案を尊重し、この後の討論、採決の前に委員長から質問を行いたい

－ 異議なし －

小島委員長

「市名変更に関連する調査業務について」に関する事以外に、意見はないか。

－ 意見なし －

小島委員長

特に他に意見がないので、今回は、「市名変更に関連する調査業務について」、市長に対し、質問を行う。

市長確認質問

「市名変更に関連する調査業務について」

小島委員長

市名変更に関連する調査業務について、議論を深めるために市民等の一つの判断材料として、調査すること自体は必要であると考えているが、提案説明された調査方法や調査内容では、まだまだ検討の余地があるのではないかと考える。業者選定方法を含め、調査方法、調査項目について、再度検討する必要があると考えるが、市長の見解を問う。

酒井市長

ご指摘いただいた点については、予算を認めていただいた後、さらに精査して詳細内容を詰めていく必要があると考えている。その際には、総務文教分科会はじめ、議会からいただいたご意見についても十分尊重して対応していきたいと考えている。業者選定方法を含め、調

査方法、調査項目について、もう一度、一から検討していく。

特に業者選定の方法については、入札には馴染みにくい業務と考えているが、プロポーザル競技方法を活用するなど、適切な方法を採用して検討していく。

こうした作業を進めるにあたっては、職員による「(仮称)市名変更に係る調査プロジェクトチーム」を設置し、業者選定、調査項目の精査等について、適切に慎重に進めていきたいと考える。

小島委員長 「(仮称)市名変更に係る調査プロジェクトチーム」について、具体的にどのように進めていこうとしているのか。

平野副市長 プロジェクトチームでは、総務部長を座長として、業者選定、調査項目の精査等に関する業務について、取り組みを進めていきたいと考えている。情報・統計担当部署の職員を含め、関係職員数名でプロジェクトチームを構成したいと考えており、10月1日付けで発足し、10月2日に辞令交付を行い、業務を進める予定としている。

小島委員長 プロジェクトチームでの検討の際、総務文教分科会で出された意見についても、できるだけ反映してほしい。

議員間討議

木戸委員 プロジェクトチームの発足に関して、分科会審査の中ではなかった。市長からは、プロジェクトチームで調査内容等を一から検討していくとの答弁があったが、今までの内容を白紙に戻してやり直す意向のように受け取れた。

恒田委員 座長報告での質疑において、予算400万円以内で調査すると理解していた。しかしながら、先ほどの市長答弁は、調査費用400万円すら白紙に戻すというニュアンスに聞こえたがどうか。

隅田委員 市長答弁は、分科会での意見を踏まえ、どのような調査がよいのか、プロジェクトチームで再度考えていく。業者選定を行う上での材料を考えるとの趣旨であったと理解している。

恒田委員 予算400万円で調査を実施するという明確な市長答弁がなかったがどうか。

隅田委員 補正予算として400万円を上程していることから、その予算で業務を行うことは既定の話ではないか。

森本委員 補正予算として400万円が上程されており、この中で最善の努力をするという市長の答弁ではなかったか。調査方法等を再度検討しながら、400万円の中で調査していくものであり、市民等が判断でき

る材料が示されることを期待したい。市長答弁での「一から検討していく」については、市民等に対して様々な判断材料が必要であることから、議会からの意見も含めて考えていくとの趣旨であると理解した。できるだけ早い時期に調査結果を出していただき、どうするべきかを判断する材料を示していただきたいので、調査に関する予算は認めたいと考える。

奥土居委員 調査に係る費用を積み上げて、積算根拠をもって予算が提案されるが、「一から検討する」という市長答弁は、予算ありきで、後で内容を考えてという答弁のような印象を受け、少し疑問に感じた。

木戸委員 通常、2社から見積もりを徴取し、それを基に積算し、予算を上程することになる。今回の調査費に関する予算についても見積根拠があって400万円という費用を積算し、上程されたものである。分科会でも様々な意見があり、市はそれも勘案し、進めていきたいということであったと認識している。しかしながら、「一から検討する」ということは、分科会での意見をすべて反映することになり、積算根拠自体がなくなってしまうと考える。それについて、議会として、400万円の中で進めていただいたらよいと考えるのか。あるいは、議員が提案した内容を含めると今回の予算をオーバーするのではないかと考えるので、400万円の予算は認めて、それを超える場合は、今後、補正予算として上程されると考えるのか、どうか。

安井委員 分科会の意見を調査内容に入れるとなると、今回の補正予算の積算根拠がなくなってしまう。今回の補正予算は取り下げて、再度、精査のうえ、上程すべきではないかと考える。

隅田委員 分科会での意見を踏まえ、予算400万円の中で入札等を行い、業者を選定する。入札等が不調であった場合は、増額しなければならないのかどうか、市は検討することになるのではないかと考える。

奥土居委員 提案された補正予算の中に議会の意見も取り入れられると認識していたが、市長の「一から検討する」という答弁は、今回の補正予算と全く違う内容になると感じる。

表 決

議案第62号 平成29年度篠山市一般会計補正予算（第3号）

議案第63号 平成29年度篠山市住宅資金特別会計補正予算（第3号）

議案第64号 平成29年度篠山市下水道事業特別会計補正予算（第1号）

議案第65号 平成29年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

議案第66号 平成29年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議案第67号 平成29年度篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
議案第68号 平成29年度篠山市介護保険特別会計補正予算(第2号)
議案第69号 平成29年度篠山市農業共済事業会計補正予算(第1号)
議案第70号 平成29年度篠山市水道事業会計補正予算(第1号)

— 討論なし ・ 全員賛成で可決 —

議案第72号 平成29年度篠山市一般会計補正予算(第4号)

— 討論なし ・ 賛成多数で可決 —

小島委員長 委員会の審査報告については、委員長にご一任願いたい。

— 異議なし —

小島委員長 本日の会議記録については、事務局に調整させ、委員長、副委員長において内容確認を行いたい。これにご一任願いたい。

— 異議なし —

國里副委員長 今回、調査業務に係る補正予算については、審議等の時間を要したが、今後のその進捗状況等については、節目、節目で議会または、所管委員会へもつないでいただくようお願いする。

13:04 閉会